

みよしSDGs

SDGsとは？

「持続可能な開発目標」の解説

SDGs(Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載される2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲三富新田



▲雑木林

三芳町とSDGs

三芳町では、町の特徴と活かしながら、経済を発展させ、かつ、人や環境にやさしい、持続可能な地域をつくっていきたくと考えています。三芳町は、農家の努力と誇りを持って3世紀を超えて継続されてきた武蔵野の落ち葉堆肥農法(日本農業遺産)や平地林が残り、持続可能な発展という想いが根付く町です。また、近年では、武蔵野台地の強固な地盤と関越自動車道が通る首都圏の流通拠点として、国内外で活躍する企業や事業所が多く所在しており、経済循環の一役も担う地域となっています。

町の取組

みよしSDGs ロゴマーク

三芳町でのSDGs推進を目的とし、町の象徴でもある「雑木林」をイメージした「みよしSDGsロゴマーク」を作成しました。町で実施・開催するSDGsに関連する活動等で幅広くご活用いただくため、公序良俗に反する目的での利用を除き、広くご利用いただけます。



MIYOSHI
SDGs

総合計画後期基本計画等への位置づけ

町の指針となる第5次総合計画の理念や将来像がSDGsにつながるものでもあることから、令和2年4月施行の「三芳町総合計画～後期基本計画」に町が実施していく取り組みとSDGsとの繋がりを示しました。

広告

★株式会社新星

Accelerating Next 40

さらなる40年に向けて
お客様からの様々なご要望にお応えする力
それが私たちの夢であり喜びです



創業以来、自動車やオートバイ試作開発部品やレース用車両主要部品を製作してまいりました。

事業内容

二輪、四輪自動車の開発部品及びレース部品加工
製造装置設備の重要機能部品加工
リバースエンジニアリングによる部品設計

埼玉県入間郡三芳町上富2036-1
TEL.049-258-6160 FAX.049-258-7689

株式会社 新星

検索



誰でもできるSDGsアクション・ガイド

出典:国連広報センター アクションガイド

レベル1 ソファに寝たままできること

電気を節約。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていない時は完全に電源を切る。もちろん、パソコンも。請求書が来たら、銀行窓口でなく、オンラインかモバイルで支払う。紙を使わなければ、森林破壊抑制に繋がります。

レベル2 家にいてもできること

紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば、埋立地を増やす必要がなくなります。生鮮品や残り物、食べ切れない時は早めに冷凍し無駄を防ぎます。窓やドアの隙間をふさいでエネルギー効率を高めることができます。

レベル3 家の外でできること

買い物にはいつもマイバッグを持ち歩いて、レジ袋を無駄に使わない工夫を。買い物は地元で。地域の企業や農家を支援すれば、雇用が守られるし、長距離トラックの運転も必要なくなり、環境に配慮した、住みよい町に繋がります。

レベル4 職場でできること

通勤は自転車、徒歩や公共交通機関。マイカーは人数が集まった時だけにするなど意識。職場で差別があったら、どんなものであれ声を上げる。性別や人種、性的指向、社会的背景、身体的能力に関係なく、人はみんな平等です。

三芳町はSDGsを推進していきます

まちぐるみでSDGsの17の目標に向かい、
これからも明るく豊かな三芳町の未来を築いていくために、
皆様のご協力をお願いします！



三芳町フォトギャラリー
Miyoshi Town Photo Gallery





貴重な農法を受け継ぐ

日本農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」とは

日本農業遺産認定

武蔵野の落ち葉堆肥農法

みよし野菜の美味しさの秘密。

荒野が広がる武蔵野の大地に作物を作るため、今から300年以上前の江戸時代に始められた、人工的に木を植え林を作り、その落ち葉を堆肥にして畑の肥料とする「落ち葉堆肥農法」。首都圏内でこの農法が今なお受け継がれているのは珍しく、平成29年3月14日、日本農業遺産に認定されました。農業的には価値の低かった武蔵野の荒野を当時の農村計画をもとに、屋敷地、畑地、平地林が一組として開発された

独創的な事例が、大都市近郊という環境下で今なお残されているという点が評価のポイント。そして何より、落ち葉掃きなどの作業にはボランティアなどが多く参加し、都市農業交流や環境教育の面でも成果を上げている、まさに町の残すべき遺産です。

▼「落ち葉掃き」で落ち葉堆肥農法の一部を体験。



広告

武蔵野の緑の畑を守りたい。
そばの栽培で耕作放棄地を解消します。
一緒にそばに関わりたい仲間も募集しています。

株式会社エム・ファーム 埼玉県入間郡三芳町北永井38 TEL 049-258-5747

Check!



体験落ち葉掃き

三芳町川越いも振興会の皆さんから教わる落ち葉掃き。体験を通じて落ち葉堆肥農法の歴史的背景を学ぶことができます。

世界一のいも掘りまつり

世界一長い畝と日本農業遺産のコラボ。

世界一長い畝でのいも掘りイベント。日本農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法を、いも掘りしながら体感できます。おいしい秋の三芳町をたくさん楽しんでください。



▲やわらかい土を掘るとさつまいもが出てきます。



▲淑徳大学の学生も参加。



広告



外構工事一式

鈴木ブロック工業

三芳町上富1556-10

TEL 049-259-2082

FAX 049-259-2098

E-mail suzuki-blook@castle.ocn.ne.jp

美しい自然との調和を求めて
緑のリサイクルセンター
ウイズグリーン

堆肥生産販売

剪定枝、草、樹木受け入れのお問い合わせは
(営) 月～土曜(休日は日・祝) 午前8:00～午後6:00まで
三芳町上富841-1 TEL/FAX 049-258-6175

 **ウイズグリーン株式会社**
知事許可(特-30)第24832号

高木枝降ろし作業・伐採造成工事・剪定作業

三芳町上富513 TEL 049-258-6145
FAX 049-258-6120

ウイズグリーン 検索

**電気で困りのときは
お電話ください!**

フューカーが切れる

オール電化にしたい

漏電遮断器が欲しい

コンセントがほしい

株式会社青木電設

三芳町上富1294-1

TEL 049-258-1443

FAX 049-258-8535



大地の恵み・農作物の価値向上

高品質な「みよし野菜」のブランド化推進

味良しの味力 つちがいひと 培人の自信作

みよし野菜



三芳町の農業は首都30km圏内の畑作中心の都市近郊農業として、県内有数の農業生産額を上げています。江戸時代の開拓以来、代々にわたり関東ローム層に覆われた武蔵野台地の赤土に肥料を施し、土作りを行いながら作物が豊かに実る大地へと変えていきました。そこで、歴史ある三芳の畑から生産される様々な野菜を「みよし野菜」とし、その味と品質を広く知ってもらい、ブランドの確立をめざしています。

三芳町ガイド



Check!



みよし野菜ブランド化
推進研究会とロゴマーク

みよし野菜のイメージアップ、ブランド化の推進のため、平成24年に青年農業者たちが立ち上げたみよし野菜ブランド化推進研究会。その戦略としてロゴマークの図案を公募しました。生産者が自信を持って出荷するみよし野菜の目印として、野菜の袋などに記されています。

広告



富の川越いも
とめ かほごえ

直売・いも堀り、イモソフトクリーム
オリジナル芋焼酎の
販売もおこなっています。
ハーブガーデン始めました。
※大型バス駐車場有り

川越いもはやし園

はやし園

〒354-0045 入間郡三芳町上富1003
TEL.049-259-2228
FAX.049-258-0968
<http://www.kawagoe-imo.com/>
<http://izaemon1694.com>

農薬や化学肥料を
使わずに栽培した
農産物

おいしくて安心!

純国産鶏 **もみじ たまご**
さくら

木内こだわり農園
(有)フレッシュサービス
TEL 049-255-4279
富士見市水子2706-3

農林水産祭むらづくり部門天皇杯を受賞

富の川越いも

上富地区で栽培されているサツマイモは、その味の良さから川越いもの中でも特に「富の川越いも」として知られています。なかでも金時と親しまれる紅赤は、皮が鮮やかな赤色で、実は美しい黄色です。ホクホクとした食感が楽しめます。また、「富の川越いも」を栽培する農家で組織する三芳町川越いも振興会は長年の活動が認められ、農林水産祭むらづくり部門で天皇杯を受賞しました。



三芳の名物

町には地元特産品を使ったバラエティー豊かな商品があります。いくつか知っていますか。

みよしそば



芋焼酎「富の紅赤」

富の川越いも(紅赤)を100%使用した本格焼酎です。

なたね油



Check!

みよしっ子野菜市

三芳生まれ三芳育ちの「新鮮野菜」直売します!

毎月第4土曜日
藤久保公民館前 みらい広場
9:45~

毎月第4土曜日
体育館 1階ロビー
10:00~

毎週水曜日
役場1階
10:00~



狭山茶ようかん



いもせんべい

農林水産大臣賞等を受賞!

絶品! 狭山茶

狭山茶を生産。産地としては小さいものの、毎年品評会で上位に入賞・農林水産大臣賞を受賞するなど、その品質の高さは県内でも屈指のお茶です。



広告



森田園

三芳町北永井627

TEL 049-258-3855 FAX 049-259-4427

川越いも生産・直売
井田農園



江戸時代から受け継がれてきた伝統農法で、さつまいもを大切に育てています。



甘〜くて
美味しい!

井田農園の さつまいも

里芋、焼き芋、焼き芋ペーストも承ります。

☎・FAX 049-258-0956

詳しくはホームページで <https://idanouen.com/>

宮内庁茶献上 田畑園

令和二年五月吉日六十八番

お茶を通して、地域活性化!



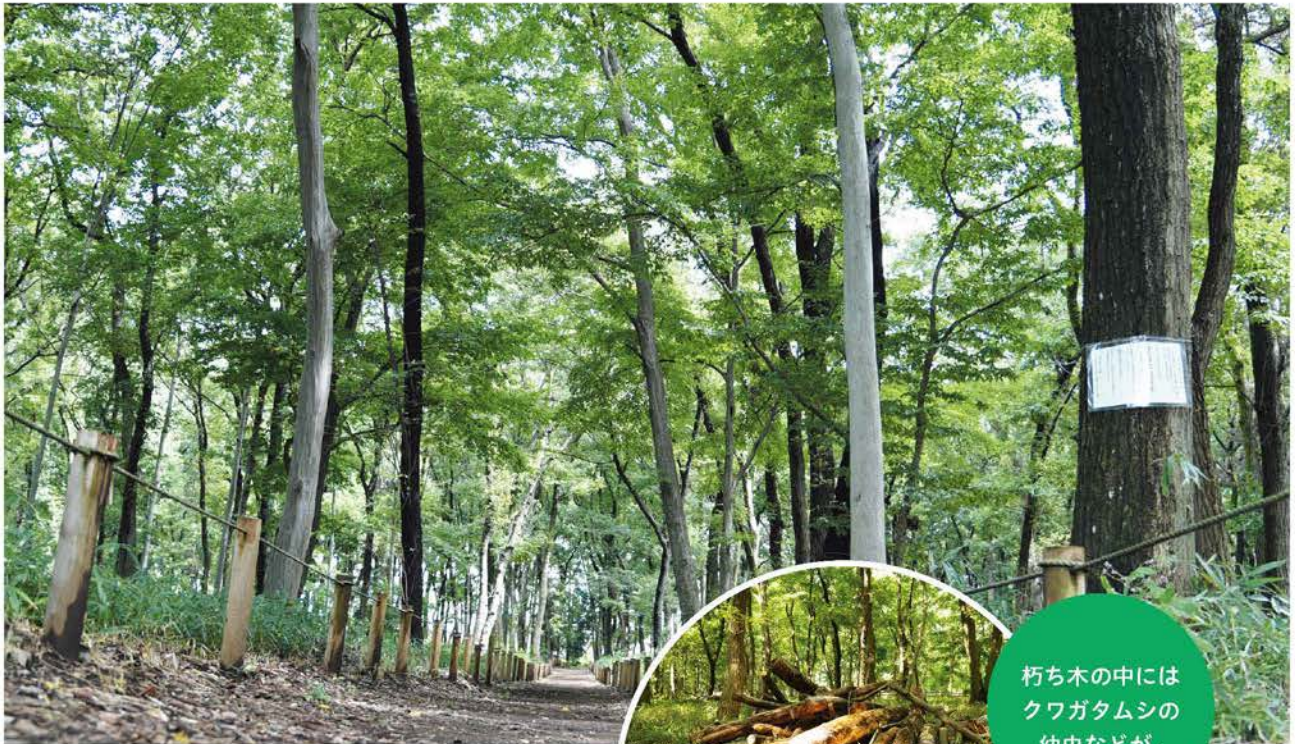
詳しくは表2の広告をご覧ください。

登録商標 三芳産 三芳の茶

株式会社 田畑園

〒354-0045 三芳町上富2265
TEL.049-258-1710
FAX.049-258-3157





朽ち木の中には
クワガタムシの
幼虫などが。



藤久保の平地林

子どもたちへ残したい自然があります。



平成30年度に一般公開された緑のトラスト保全第14号地「藤久保の平地林」。埼玉県の良い自然や歴史的環境を後世に残すため、寄付金により公有地化して守られている土地です。誰でも気軽に安心して足を運べ、自然と緑を体験できる三芳町のおすすめスポット。その裏には三芳町の緑を守り、子どもたちに緑を残してあげたいという気持ちで活動している「みよしグリーンサポート隊」の存在があります。歴史ある農法を守るため、葉が落ちる前に整備し、堆肥に向かない笹や雑草、朽木の丸太などを除去し、落ち葉掃きの際に不純物が混ざらないようにしています。

落ち葉掃きをスムーズに行えるように整備活動をするグリーンサポート隊▶



三芳町フォトギャラリー
Miyoshi Town Photo Gallery



蛍舞う、こぶしの里

幻想的な光を放つ こぶしの里のホタルたち

三芳町の中でも深い歴史と豊かな自然、強くて優しい人とのつながりがある場所、竹間沢。初夏になると美しいホタルの舞う華やかなこぶしの里の風景を次世代につなぎたいという思いから、竹間沢ほたる育成会の活動によって環境が守られてきました。今では毎年竹間沢小学校の児童がホタルの幼虫を放流し、5月下旬ごろからホタルの見頃となります。地域のつながりで守られてきた三芳町の豊かな自然。季節ごとに変わる表情をぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。



カワニナは巻貝の一種で、ホタルのえさになる。



竹間沢小学校の児童が放流するホタルの幼虫。



木陰で涼んで自然の声を楽しんでみてはいかがでしょうか。



広告



克 有限会社 小幡土建工業
 OBATA DOKEN since 1971
 埼玉県知事許可(般-2)第11171号

[営業品目]
 土木・建築・とび・土工・鋼構造物
 舗装・しゅんせつ・水道施設 工事業
 産業廃棄物収集運搬業
 残土処分業・レッカー業務

三芳町北永井501-5
TEL 049-257-0406
FAX 049-257-0407

彩家
 -SAIKA-

有限会社 彩家造園

三芳町上富1552-11
TEL 049-258-6926
FAX 049-258-6934
 saika@fg8.so-net.ne.jp

中学生海外派遣inオランダ

中学生海外派遣

外国の文化・伝統等について深い理解を持ち国際理解を深めるため、ホストタウンでもあるオランダでホームステイを行いました。海外の文化に触れることで生徒の国際感覚を養うとともに、三芳町の文化を世界に発信する機会にもなっています。

ホストファミリーとの集合写真▶



中学生海外派遣inマレーシア

リーダーシッププログラム

姉妹都市であるマレーシア・ペタリングジャヤ市主催の国際交流プログラムに三芳の中学生が参加。中国・韓国などアジアから同年代の生徒が一堂に集まり、多様な異文化に触れることで視野を広め、人間性を成長させます。

◀多様な国の生徒との交流

初の姉妹都市

マレーシア ペタリングジャヤ市

平成29年12月19日、マレーシア ペタリングジャヤ市と姉妹都市提携を結びました。文化・芸術・教育などさまざまな分野で交流を続けていきます。ペタリングジャヤ市で毎年行われる国際的な祭り「PJフォークロアフェスティバル」では竹間沢の里神楽を披露し、三芳町の文化を世界に発信しました。友好の証として役場の敷地内に植樹した桜の木はいつか大きく育ち、交流の深化とともに綺麗な花を咲かせてくれる日がきます。



▲調印式にはペタリングジャヤ市から市長たちが来庁



三芳町フォトギャラリー
Miyoshi Town Photo Gallery



三芳町の国際的な取り組みと、読み書きが苦手な子どもたちへの配慮

外国人登録人口増加 国際化の波は三芳町にも

三芳町の外国人登録人口は、年々増加しています。日本語が不得意の人が多く、誰一人取り残さない社会のために支えあいが必要です。

登録外国人人口数の推移 ※各年3月末日現在

年	外国人登録数
2015年	486人
2016年	543人
2017年	654人
2018年	692人
2019年	758人



国際交流オランダ・マレーシア

東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機にオランダとマレーシアのホストタウンに登録された三芳町。オンラインで選手たちと交流したり、事前キャンプを行ったりと親睦を深めました。マレーシアのペタリングジャヤ市とは姉妹都市も締結しており、中学生の海外派遣事業など様々な国際交流を行っています。

▶東京2020オリンピックの女子柔道で銅メダルを獲得したオランダのサンネ・ヴァン・ダイケ選手



◀東京2020パラリンピックの男子走り幅跳びT20(知的障がい)で金メダルを獲得したアブドゥル・ラティフ・ビン・ロムリー選手(左)とバドミントン男子シングルスSU5(上肢障がい)で金メダルを獲得したチエア・リック・ハウ選手(右)

広告



福祉喫茶ハーモニー

OPEN 11:00～16:00(土日定休)
ランチラストオーダー14:30
土日祝日の大量のお弁当注文等はお相談ください。
三芳町藤久保1100-1 コピスみよし内
TEL 090-1843-1366

多機能型障害福祉サービス事業所
(生活介護事業・就労継続支援B型事業)
(特定相談支援事業・障害児相談支援事業)

「のぞみらすり」
「しじみ袋」(糖製品)
ご注文承ります。

社会福祉法人入間系郡福祉会
三芳太陽の家
〒354-0041 三芳町藤久保1078-3
TEL 049-259-0058
<http://park3.wakwak.com/~miyositaiyounoie/>

三芳町の特徴

三芳町は東京から約30km圏内に位置し、関東ローム層に覆われた概ね平坦な台地で形成されています。これまで地震や台風等の災害にも強い風土であることから、企業立地に最適な地域となっています。そのため、町内に立地する事業所も多く、その影響もあり、昼夜間人口比率が県内市町村の中で最も高いことが特徴として表れています。



三芳町の魅力

高速道路ネットワーク

町内には関越自動車道の三芳スマートICが、また近隣に所沢ICや川越ICがあり、圏央道や外環道へのアクセスに優れています。現在三芳スマートICにはフルインター化・車種拡大(車長12mまで)の整備を進めており、首都圏における製造・物流拠点として最適な地域です。

災害に強い安心安全なまち

三芳町は地盤が強固で地震に強く、河川がなく水害も少ないことから、安心して事業を展開できます。

住みよいまち

住環境については、土地区画整理事業により計画的な整備を進めています。鉄道等を利用した都心へのアクセスがよく、自然豊かで快適な暮らしが評価されており、従業員の皆様にも良好な生活環境を提供できることから、安定した雇用が確保できます。

三芳町の企業誘致

三芳町は、「第5次総合計画」にて、三芳スマートICを交通拠点とした産業誘致を進めております。これは、町道幹線3号線沿線に産業系施設の誘導を図り、併せて緑化を推進し景観を形成する「みどり共生産業ゾーン」を定めて、企業立地を促進しています。



広告

町内企業の発展を応援する企業

不動産 仲買 仲介

土木工事

解体工事

建築営繕工事

幅広いニーズにお応えします お気軽にご相談ください。

総合建設業・解体工事業・宅地建物取引業

SHIONO CONSTRUCTION INDUSTRY CORPORATION

塩野建設工業株式会社

三芳町大字北永井 836-3 TEL.049-259-0800(代)





伝統文化の継承

地域に根ざす文化を伝えたい



圧倒的な威圧感と迫力。

世界に舞う、里神楽

古事記や日本書紀の神話を原点とした演目や創作を演じる里神楽。現在では竹間沢里神楽保存会によって受け継がれており、町の無形民俗文化財に指定されています。姉妹都市ペタリングジャヤ市(マレーシア)で行われた民俗フェスティバルにも出演し、町の文化を世界に広めています。



▲熊襲建討伐を終え、見得を切る小唯命



三芳町ガイド

日本に三芳町を含め3地域のみ現存する貴重な伝統芸能「車人形」。

蘇った、車人形

約130年前、竹間沢に伝わった車人形。人形遣いがロク口車に腰をかけ、人形を一人で操る姿から車人形と呼ばれています。少人数でも公演を行うことが可能で、演出の幅が広く、激しい動きができることが特徴です。昭和46年に前田家の納戸から芝居用具が発見されたことをきっかけに、「何とか再演できないものか」という声が高まっていき、翌年には復活公演。現在は13人の竹間沢車人形保存会の皆さんが伝統芸能を守り伝えています。



コピスみよしでの公演。黒子に徹して人形を引き立てる。▶

広告

トラック・バスのご用命は



株式会社 エストコーポレーション
埼玉県入間郡三芳町藤久保705番地1
TEL:(049) 258-3141
FAX:(049) 258-3060



広告

多福寺齋場



入間郡三芳町上富1501-3



臨済宗妙心寺派

三富山 多福寺

TEL 049-258-0837